

令和5年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	中津市役所		代表者名	森下 泰介	
担当者部署	企画市民環境部		連絡先電話番号	0979-22-1111	
担当者役職	主任	担当者氏名	中尾 修大	連絡先E-mail	
住所	871-8501 大分県中津市14番地3				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	中窪 悟
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	先進自治体としての技術的な助言だけでなく、肝付町のマインドもご教示いただいた。特にテレワークを職員のためだけでなく市民のために積極的に活用していこうという発想は目から鱗が落ちました。また、現在の取組だけでなく今後の取組についても教えていただくことができ、今後の当市の方針決定に大変参考になりました。
アドバイザーへの要望事項	引き続き、ご支援ご協力をお願いします。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

3-1. 対応日・時間	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	期日・支援内容の変更あり		
	令和5年11月14日	支援・助言(実地)	無		
	実施した派遣日	実施した支援内容	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
			10時00分	12時30分	
			活動時間（分）	150	
3-2. 派遣場所	会場名	中津市役所	最寄駅	中津駅	
	所在地	大分県中津市豊田町14番3	最寄駅からの交通手段	徒歩	

4. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可	https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past-year-all-houkoku/
------	---------------------------	---

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	人数
	職員	7人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	現在、αモデルでネットワークを分割しているが、βモデルやβ'モデル等の移行を検討している。現状、インターネット環境が職員一人ひとりに用意されておらず、課毎に1~2台インターネット端末を共用で利用している状況である。職員一人ひとりにインターネット環境を用意するにはβ'モデル等のネットワーク見直しが有効であると考えている。同時に、メインの業務端末をインターネット系にすることにより、グループウェアをインターネット上に構築する必要があるため、グループウェアの見直しを検討している。今後の検討及び計画策定を行うにあたり専門的知見の不足や情報収集が課題となっている。	
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	先進事例の紹介および当市の状況を伝えたいのでアドバイスをいただくことで、当市の三層分離見直しの方針の参考にする。	
アドバイザーに支援を受けた内容（具体的にご記入下さい）	ネットワーク三層分離及びグループウェアの見直しを行うあたり、肝付町のクラウドサービスとしてのグループウェアなどの活用事例についてご教示いただきたい。また、クラウドサービスとしてのグループウェアなどの運用方法や注意点についてご教示いただいた。	

支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	肝付町のシステムアーキテクチャを理解することができた。また、当市での肝付町モデル採用可否の判断材料をいただいた。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	派遣後にフィードバックをしたところ、新たに技術的な疑問が生じた。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 今回は、事業コアメンバーのみであったため、アンケートは特に実施していない。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるもののリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある
事業の最終的な目指す姿	ネットワークの三層分離を見直し、クラウドサービスとしてのグループウェアを活用して職員一人ひとりの業務効率化と生産性の向上を図ることにより、市民に身近な市役所を実現する。	

なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

